

持続可能な居場所づくりに向けて

現地トークでつなぐこれからの居場所

子ども、高齢者、障がい者、わかものなど、いずれを対象とした活動でも「居場所」は重要です。和歌山県内各地でも「新しい居場所づくり」が進められています。そこで、和歌山県内で新しい居場所を展開している4人から、活動についてお聞きし、「居場所」について認識を深め、「和歌山で住んでいてよかった」と思えるまちづくりの礎としたいと考えています。

事例2

「親子で自由に遊べる
ほっとルームぐるんぱ」

プレゼンター：佐藤百子氏
(NPO 法人きのくに子ども NPO 理事)



事例1

「どっこい
森は生きている」

プレゼンター：岡田和久氏
(NPO 法人根来山げんきの森倶楽部
事務局長)



現場から
オンライン参加する
プレゼンターも。
生の雰囲気を感じられるかも？

※各登壇者のプロフィール
は裏面をご覧ください。

事例3

「新たな『自分』や
『仲間』との出会い」

プレゼンター：野中康寛氏
(創-hajime café- 施設長)



事例4

「農業でわかものを
つなぐ」

プレゼンター：井上信太郎氏
(善兵衛農園七代目園主)



コーディネーター

永瀬節治氏

(和歌山大学観光学部准教授)

日時 11月20日(日) 13:30～16:00

会場 和歌山ビッグ愛9階会議室C(和歌山市手平2-1-2) / ZOOM オンライン

定員 会場・ZOOM それぞれ30人(事前申し込み必要)

※申し込みについては裏面をご覧ください

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催形態を変更することがあります。

主催 つばさの会・和歌山(0736-64-5738・ekinagaki@yahoo.co.jp)

※この講座は、令和4年度高等教育機関コンソーシアム和歌山「わかやま学講座」の採択を受けて、つばさの会・和歌山が実施します。お預かりした個人の情報は、高等教育機関コンソーシアム和歌山の講座実施以外では使用いたしません。

登壇者プロフィール

岡田 和久（おかだ・かずひさ）さん

元和歌山県庁森林技術員。1997年に和歌山県が森林公園用地として旧岩出町根来地区の国有林195haを買い上げ、有効利用するころから「根来山げんきの森」の開設に携わる。その後、同森をボランティアで管理するためNPO法人根来げんきの森倶楽部を立ち上げ、現在事務局長。

佐藤 百子（さとう・ももこ）さん

NPO法人きのくに子どもNPO理事。0歳から3歳までの乳幼児をもつ子育て中の親とその子どもを対象に、地域の遊びの広場として「ほっとルームぐるんぱ」を和歌山市福島に開設し運営中。

野中 康寛（のなか・やすひろ）さん

社会福祉法人一麦会・ハートフルハウス創が運営する「創-HAJIME café」施設長。不安や葛藤の中、社会との関わりから少し時間をおいた若者たち。そんな、様々な生きづ

らさを抱えている若者たちが、新たな「自分」との出会い「仲間」との出会いの中で心の解放ちを行い、ゆっくり過ごす居場所として運営している。

井上 信太郎（いのうえ・しんたろう）さん

和歌山大学観光学部卒業。株式会社秋津野で2年間農業研修。就農後、大学生の農業経験の場をつくるためコミュニティハウスを始める。現在就農7年目、新たな拠点を仲間と開き、地域外と地域内を繋ぐコミュニティづくりをしている。善兵衛農園七代目園主。

永瀬 節治（ながせ・せつじ）さん

和歌山大学観光学部准教授。専門は社会基盤（土木・建築・防災）、建築計画、都市計画。2012年に和歌山大学に着任。南海和歌山市駅周辺の再開発を見据えた社会実験「市駅グリーンプロジェクト」の仕掛け人。和歌山県以外のまちづくり・都市計画にも関わる。

高等教育機関コンソーシアム和歌山「わかやま学」講座

持続可能な居場所づくりに向けて 現地トークでつなぐこれからの居場所 参加申込書（FAX用）

ふりがな お名前		
ご住所（〒 - ）		
参加方法 ○をつけてください	会場参加	ZOOM
緊急連絡先		
ZOOMの方は メールアドレス		

FAX 送信先… 073-427-8164（送付状等は不要です）

オンライン申し込みも可能です。
右側のQRコードからアクセスください。

